

今、輝いている市民

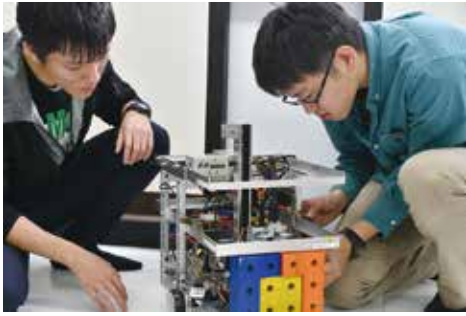
ロボットに懸ける思いは日本一

帝京大学工学系サークル ロボラボ

8月に行われた、ロボットコンテストの全国大会、WRO Japan 2017 アドバンスド・ロボティクス・チャレンジで優勝した、帝京大学工学系サークル「ロボラボ」に所属する2人。

「テーマが発表されてからロボラボ全員で取り組んできたロボット製作。無事完成し、指示通りに動いてほっとした」と話します。

今回2人が出場したのは、自律型ロボットを使い、



2・3メートル四方のフロアに置いてある木製のブロックを拾って棚に積み上げ、その積み重ね方により加わる得点を競う競技。「何度も調整しながらも、期限に間に合う



▲高橋大地さん、平山圭太さん

ように製作しなければならなかった」とその苦労を話します。しかし、「難しければ難しいほど得られる達成感は大きかったし、やっぱりものづくりは楽しい」と笑顔をのぞかせます。

優勝後もすぐに、次の大会に向けてロボット製作に取り組んだ2人。「学校や先生が全力で支援してくれている。自分たちも全力でやりたい」と製作に没頭します。「ロボット作りは一生かけて取り組みたい」とと真っ直ぐな瞳で話す2人の挑戦は続きます。



外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

今回のテーマは「ジャパンカップ」

今回は、10月22日に開催された「ジャパンカップ サイクルロードレース」に行ってきました。当日はあいにくの天気でしたが、それにも関わらず大勢の人たちが観戦に来ていて、とてもびっくりしました。

雨の中でも、選手たちは滑ったりすることなくレースを展開していて、すごい技術を持っているなと思いました。また、選手同士の会話も聞こえてくるほどの近距離で観戦できるので、レースの緊張感や迫力が伝わってきます。高低差もあるコースで、観戦ポイントによって見応えが変わってくると思うので、いろいろな場所を巡ってみるのもおもしろそうです。

大会会場では、餃子、カクテルをはじめ宇都宮ブリッセン米(※)を使ったグルメなど、宇都宮の名物が集し、一度に食べるのができる楽しみもありますよ。

アメリカ出身の私たちですが、現在は宇都宮市民。このような、世界的に有名な選手が集まる素晴らしい大会が宇都宮で開催されることを、とても誇りに思っています。

※城山地域で生産された「ゆうだい21」という品種の新しいお米です。

今回のゲスト



ピーター フォレスト
スミスさん (アメリカ)

アメリカニューヨーク州出身。6年前から市内に在住し、大学の英語講師や翻訳の仕事に携わる。趣味は、宮ボタ(自転車で散歩を楽しむサークル)、書道など。



セス スティーブン
ハスラーさん (アメリカ)

アメリカミシガン州出身。20年前から市内に在住し、翻訳などの仕事に携わる。ドラムを中心に、ベース、ギターなど音楽が大好き。



1



2

1山岳賞ポイントでの一枚。雨でもたくさんの観戦者がいます2サイクルロードレース前日には大通りでクリテリウム開催がされました。

「ジャパンカップ」について、12月10日(日)午前10時30分～10時40分、とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。